

# 弘前市立博物館 ニュースレター

# No. 14

## 令和6年7月号

## Hirozaki City Museum Newsletter

### ■企画展「博物館の初夏もの語り」 閉幕&特別企画展「発掘された日本 列島 2024」が開幕しました！

博物館では7月7日(日)をもちまして、企画展「博物館の初夏もの語り」を無事に閉幕することができました。爽やかな弘前の初夏をテーマとした展示は、たくさんの方にご好評をいただき、来場者2,327名となりました。職員一同御礼申し上げます。

さて今年の夏は、博物館では考古学をテーマとした展覧会・企画を行っています！現在、特別企画展「発掘された日本列島 2024」を開催中です。全国各地で発掘された土器などの埋蔵文化財や遺跡について、豊富な解説パネルを交えてご紹介しております。同時開催の地域展「世界遺産縄文遺跡群と弘前の遺跡」では、弘前市内の遺跡や三内丸山遺跡の出土品を中心に展示中です。また、「本物の土器」に触れられる特別コーナーもロビーに設置しております。

本展覧会は、9月16日(月・祝)まで開催しておりますので、夏のお出かけや、お子様の夏休みの宿題に、ぜひ博物館にお越しください。

皆様のご来場お待ちしております。

(館長 熊谷)

### ■特別企画展で活躍する「いのっち」 たちにご注目！！

前々号から準備の模様などをお伝えしていた特別企画展「発掘された日本列島2024」。各方面のご協力を得て、無事に開催にこぎつけることができました。

当館おなじみ「猪形土製品」も企画展スペースに場所を変えて活躍中。さらに青森県立郷土館所蔵の「クマ形土製品」と共演しています！



#### ▲猪形土製品とクマ形土製品

猪形土製品は以前から「いのっち」という愛称がついていましたが、当館の職員の間では「くまっち」としてクマ形土製品にも勝手に(?)愛称をつけて呼んでいます。この二つの資料が同じケースで対面するのは、令和3年以来3年ぶりの出来事。元々人気者の猪形土製品ですが、クマ形土製品とのかわいらしいコンビをぜひご覧ください。

また現在、猪形土製品をモチーフにした当館のマスコットいのっちは

「ミュージアムキャラクターアワード 2024」に参加しています。毎年この時期に開催しているイベントで、全国のミュージアムキャラクターから日本一を決めるインターネット上のイベントです。デザインで選ぶ、名前前で選ぶ、プロフィールで選ぶ、地元だから選ぶ…。投票理由はなんでもOK！あなたの一票で、ミュージアムキャラクターの日本一が決まります。投票期間は9月6日までで、毎日1人1回投票ができます。皆さんの力で、いのっちの人気を押し上げましょう！



#### ▲いのっちへの1票をお願いします！

(「発掘された日本列島2024」担当学芸員 三國)

### ■企画展関連講座「津軽の昆虫、今昔物語」を開催しました

6月29日(土)、企画展「博物館の初夏もの語り」にご協力いただいた弘前大学白神自然環境研究センター長・教授の中村剛之先生による講座

を開催しました。テーマは「津軽の昆虫、今昔物語～白神山地の自然を中心に～」でした。



#### ▲開催中の講座のようす

講話の前半は白神山地の豊かな自然から触れられ、原始的なブナ林が残ることで世界遺産となったことなどを紹介されました。また、登山道や作業用の道路すらない白神山地で実際に調査された際の経験やなどもお話しいただきました。

続く後半は昆虫の分布変化の話題へ。例えば70年ほど昔の弘前公園での昆虫採集記録と現代の様子を比較すると、多くの種類の昆虫たちがみられなくなったようです。「博物館の初夏もの語り」では蝶の標本をお借りして展示しましたが、それらの中にも弘前公園から姿を消した種類がいるようです。また、より直近の話でも南方系の蝶などの青森県内への侵入や外来種の定着などの状況があるようです。今ある豊かな津軽の自然も急速な変化の中にあることから、ぜひ今の姿を見ておいてほしいと締めくくられました。

20名の参加者の皆様も身近な自然を改めて考える貴重な機会として、じっくりと耳を傾けていました。

(初夏展担当学芸員 工藤)

#### ■「発掘された日本列島 2024」図録&クリアファイル販売中！

現在開催中の特別企画展「発掘された日本列島 2024」の関連グッズを博物館受付にて販売中です。展覧会についてもっと詳しく知りたい方には必見の内容！受付には見本を置いていますので、この機会にぜひお手に取ってみてください。



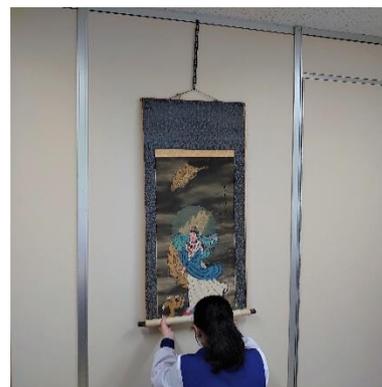
#### ▲受付にて販売中！

#### ■中学生の職業体験！

弘前市立第二中学校2年生の学生さん2名が、職業体験のため博物館に来てくれました！博物館の多岐にわたるお仕事について、その一部を体験していただきました。

収蔵庫見学では、普段は見ることのできない博物館のバックヤードに、2名とも興味津々の様子で、学芸員の解説にもメモを取りながら集中して聞いていました。掛軸体験では、掛軸の掛け方から紐の結び方までを練習しました。2名とも初めての掛軸でしたが、慎重かつ丁寧に取り組んでいる様子でした。また、実際の展示を想定したキャプション制作体験も行いました。当館所蔵の猪形土製品をよく観察した後、その特徴などを文章にしてキャプションを作

り、展示作業の一部を学んでいただきました。



#### ▲掛軸体験のようす

7月3、4日の2日間という短い日程でしたが、博物館のお仕事に挑戦していただき、ありがとうございました！

(学芸員 高橋)

#### ■デジタルサイネージ導入しました

最近よく目にするようになったデジタルサイネージ。スーパーマーケットなどにも置いてありますね。実は……、博物館にもすでに設置されています。6月ごろから正面玄関にある大型デジタルサイネージにお気づきになられたでしょうか！👁️

大きな画面のおかげで、展覧会のお知らせや入館料設定などが外からでもより見やすくなりました。まだご覧になっていない方は、博物館にお越しの際にぜひ探してみてください！



#### ▲正面玄関のデジタルサイネージ